

<b>研究論文</b>
中山京子 真珠湾と広島をめぐると日米共同実践 —ロサンゼルス・オハマ・京都の中高生をつなぐ—
李炫? 国際理解教育の実践分析 —交流効果を中心として—
太田満 両国における「戦争・平和博物館」の現状と国際理解教育の課題
<b>実践研究</b>
田村かすみ 平和教育の理念を取り入れた国語科カリキュラムの開発
野中春樹 参加体験型・問題提起型学習における教員の役割—サラワク・スタディーツアーの実践を通して—
<b>レポート</b>
第9回・教育実践研究会報告 山西優二 地域に見る他文化化と国際理解教育 フィールドトリップ～ツルミオリニ会・潮田中学校ほか 実践報告「外国につながる子どもと国際理解教育」 実践報告「地域からの国際交流と国際理解教育」 全体協議「地域に見る他文化化とこれからの国際理解教育」
第9回・教育実践研究会報告 中山京子 国際理解教育における博物館活用の可能性（2） —第二回国立民族学博物館を活用したワークショップ型教員研修の試み (執筆者) 森茂岳雄 国際理解教育の学びを『ひろげる』『つなげる』 上田信行 「経験のパブリッシング」 藤原孝幸 「みんぱくでパーム油とであったら」 居城勝彦 「なりきりフォルクローレ」 八代健志・秋山明之 「仮面をつくってかたって国際理解」 田尻信壹 「ケータイで『みんぱく異文化発見カルタ』づくり 中山京子 「砂絵（点描画）でシンボリズム」 今田晃一 「博物館を使った授業づくり」 多田孝志 「講評」

## 第15回・特定課題研究

高尾隆

アジアにおける国際理解教育の現状と研究ネットワーク構築の可能性

司会： 渡部淳・嶺井明子

発題者： イ・スンファン・姜英敏・米田伸次・千葉泉弘

## 海外研究大会報告

柴田元

第7回韓国国際理解教育学会研究大会報告

## 海外情報

伊井直比呂

ニュージーランド（アオテアロア：マオリ語名）から学ぶもの

ーニュージーランド・ユネスコ共同学校のようにー

## 書評

山田千明

J. A. バンクス著，平沢安政訳『民主主義と多文化教育ーグローバル化時代における市民性教育のための原則と概念』

早川則男

小林和夫・国際教育専門委員会編『地球時代の表現者』

田尻信壹

多田孝志著『対話力を育てるー「共創型対話」が拓く地球時代のコミュニケーション』

高松美紀

中島章夫・大迫弘和著『この国の未来を創る学校ー日本型国際学校の可能性』

## 新刊紹介

渡邊千景

高橋哲哉・斎藤貴男著『憲法が変わっても戦争にならないと思っている人のための本』

松井克行

太田 光・中沢新一著『憲法九条を世界遺産に』

宋英子

姜尚中著『愛国の作法』